

小樽市文化祭 へ行こう

現在、美術館などで第68回小樽市文化祭を開催しています。そこで今回は、その見どころや歴史についてお知らせします。ぜひ会場を訪れて「文化芸術の秋」に触れてみませんか？

◆お問い合わせは文化祭実行委員会事務局（生涯学習課内） ☎④111内線532、 ☎③6608へどうぞ。

市内4会場で開催

小樽市文化祭は、9月末から約1カ月かけて開催する、市民のための文化祭です。今年で68回目を迎える歴史ある催しで、それぞれの文化活動に合わせて、美術館、生涯学習プラザ、市民会館、市民センターの4会場で開催しています。

全て入場は無料です。お気軽にお越しください。

文化祭の魅力について伺いました

昨年度より、前年の公募展で最優秀賞を受賞した作品の中から文化祭ポスターのデザインに採用しており、今年も二俣榮（ふたまたさかえ）さんの作品を採用しました。今年から美術市展委員として運営に関わる二俣さんに伺いました。



「展示会や発表会で自分にぴったりくる作品に出会ったり、何かを感じたり、見つけることができたら最高にうれしいですね。小樽市文化祭にはそういう場がきっとあります。まずはぜひご来場ください。全てはそこから始まると思います」

見どころピックアップ



【愛石展】
多種多様な石に台座を付けて鑑賞します。

【盆栽展】
鉢の中に表現される、植物を用いた造形美を楽しめます。



【民謡・芸能のつどい】
高島越後踊りやひょっとこ踊りなどの受け継がれてきた伝統芸能が披露されます。

「小樽市文化祭」の会場別日程

美術館会場

- 開館時間は午前10時～午後5時(愛石展、書道市展、お茶会、小樽ユース展を除き最終日は午後4時まで)
- ▷美術市展 9月27日(水)～10月8日(日) (10月2日(月)はお休み)
 - ▷愛石展 10月4日(水)～10月8日(日) (最終日は午後3時まで)
 - ▷山草展、小品盆栽展 10月12日(水)～14日(土)
 - ▷書道市展 10月12日(水)～15日(日) (最終日は午後3時まで)
 - ▷書遊展 10月18日(水)～22日(日)
 - ▷盆栽展 10月19日(水)～22日(日)
 - ▷小樽硝子展2017(協賛事業) 10月25日(水)～29日(日)
 - ▷合同華展 10月26日(水)～29日(日) (27日(金)は午後4時まで)
 - ▷写真市展 11月1日(水)～11月5日(日)
 - ▷和紙ちぎり絵展 11月1日(水)～5日(日)
 - ▷お茶会 11月4日(土)・5日(日) (両日とも午後3時まで)
 - ▷小樽ユース展(高校生の作品) 11月8日(水)～12日(日) (最終日は午後3時まで)

生涯学習プラザ会場

- ▷懐かしの映画会「三匹の侍(1964)」 10月15日(日)の午後1時
- ▷俳句・短歌・川柳大会 11月3日(祝)の午後1時 (短歌は午後0時30分)

市民会館会場

- ▷ステージ「民謡・芸能のつどい」 11月3日(祝)の午後1時～3時10分

市民センター会場

- (入場整理券が必要です)
- 【入場整理券取扱場所】市民センター、市民会館、生涯学習プラザ、生涯学習課
 - ▷ステージ「小樽市民合唱祭」 11月3日(祝)の午後2時～6時40分

☎詳細 文化祭実行委員会事務局 (生涯学習課内) ☎内線532、 ☎③6608

小樽市文化祭の歴史

市民の教養を高め、生活文化の向上を図るため、「第1回小樽市文化祭」と銘打って、総合的な行事を開催したのは戦後間もない昭和25年のことです。当時から運営の中心を担っていたのは、小樽市文化団体協議会(文団協)でした。まだ市民会館がなかったため、ステージ公演は市役所の議事堂を利用し、その他のさまざまな展示会は市内デパートなどで開催されました。文団協の活動が盛んになるとともに、文化祭への出品数も増え、多くの入場者でにぎわいました。

現在の4会場での開催となったのは平成23年度からです。リニューアルした美術館の市民ギャラリーに展示部門を集約したことで、観覧しやすくなりました。現在は、文化祭より3年先駆けて誕生した「美術市展」のほか、「書道展」や「盆栽展」、「ステージ公演」など、1カ月以上にわたり、19種目を開催しています。